

あなたの ギカイだより

No.151



2026.5.1

CONTENTS 1月臨時会 3月定例会

- P 2 … ひと☆人 みんなが自分を発信できたらすてき
- P 3 … 皆さんに聴きました
- P 4 … 議会でこんなことを決めました
- P 8 … 町の予算を審査しました
- P 9 … 一般質問で町政を問いました



リメイクはぁば（手縫いの会）

小淵 登志子 さん

ひと☆人

みんなが自分を発信できたらすてき

リメイクばあば（手縫いの会）

おぶち としこ
小渕 登志子 さん



インタビュアーの春山議員・大井議員と

Qこの会を主催したのはなぜですか。

A以前から持病で健康に不安がありました。さらに4年前に大病をして、いまだに手や指にしびれが残っています。それからは「命の意味とは何だろう?」と考えるようになりました。そして、「手縫いのオリジナルデザインを考える時・工程を考える時・手縫いの時」がとても楽しい時間となりました。そんな中、自宅にバラの花を見に来た友人が、手縫いのリメイクコートを見て、「私もやりたい」との声で気づきました。学生時代に身に着けた私だけの手縫いの技術やデザインが、私への「神様からの贈り物」だと思ったからです。



リメイク作業は「神様からの贈り物」

Qどのように運営しているのですか。

A手縫いリメイクの楽しさを知っていただけたらと思い、大島紬や結城紬の和服を手縫いで洋服に仕立てています。私の道楽なので自宅がみんなの集う場で、教師もおらず家族の理解と協力のもとに受講料など無料で主催しています。

もともと和服は、冬温かく夏涼しく過ごせる日本の風土に合った衣服ですが、最近では、着る機会が少なくなりました。そんな和服をリメイクして楽しみ、普段着やよそ行きに着て楽しむことで、人生を自由に合理的に楽しめたら良いと思いながら運営しています。

Q課題や町への要望はありますか。

A2月20日から23日に開催した文化センターでのリメイク展覧会は、大変好評でした。今回、使用料を払えば誰でも展覧会を開催できることを知りました。多くの町民の皆さんがここを利用して、さまざまな作品展ができれば良いと思います。みんなが自分を発信できたらすてきなことです。



吉岡町文化センターで開催された展覧会

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューをして、意見や思いを聴きます。今回はコロナ禍で減少してしまった「町民のつながりの場」をテーマに日々活躍してくださっている皆さんにお話をお聴きしました。



おおい じゅんいち
大井 俊一 議員



はるやま かずひさ
春山 和久 議員



月1回開催される「サロン」への参加を大変楽しみにしています。「あの人は元気になっているか?」「今回は何人くらい集まるだろう?」など。ご近所の人とのつながりを保つ「心のより所になっている」と言っても過言ではありません。
(サロン参加者)

コロナ禍の時は、緊急事態措置とまん延防止等重点措置が頻りに繰り返され、「サロン」を続けていくことができるのか、大きな悩みとなりました。2022年4月からは従前通り開催ができるようになり、気持ちも少し楽になりました。今後もあれこれ工夫を凝らしながら、継続したいと考えています。
(サロン関係者)

つながりの場を作り、支えてくださる周りの人達の存在はとても大切で、活動を継続していくことが重要だと感じています。人と人とのつながりは、人生を豊かにしてくれるものです。
(フラダンス愛好会)

高齢化や体調不良などで、会員が退会されるととても残念です。行事参加者が少ないと活動が制限されますが、コミュニケーションを取りながら仲良く山頂に着くと、歩けることの幸せと健康を会員同士で喜んでいます。
(歩こう会)



家庭的なクラブで、上下関係なく会員同士が切磋琢磨しながら創作活動をしています。自分の作品が展示会に出展されると、とても励みになります。最近は小・中学生に月2回、日曜日に指導しているのでとても楽しいです。
(アトリエ風薫)

この会がなければ出かける所ありません。自分の好きなものを作って、おしゃべりできる場所が他にありません。
(アミン(編み物))

大久保寺下集落センターで第1月曜日に開催しており、会員数は27人です。1回のサロンには約11~18人が集まっています。みんなで楽しむゲーム、イベントなどを考えることが大変です。また基本的に全員参加は難しいと感じています。ボランティア5人に参加していただき、サロンはスムーズに行われています。
(サロン関係者)



子どもたちによる獅子舞などへの文化協会参加者募集は、中学生だけでなく保育園児や小学生にも配布をして、楽しさを体験してほしいです。
(上八幡神社獅子舞)

令和8年第1回臨時会・第1回定例会

議会でこんなことを決めました

令和8年第1回臨時会が1月28日に開会されました。報告1件、承認1件、議案7件が提案され、いずれも賛成多数で可決し、うち1件を※付帯決議としました。また、令和8年第1回定例会が3月2日から19日までの会期18日間で開会されました。報告1件、議案23件、同意1件、諮問2件が提案され、いずれも賛成多数で可決。他に3件の陳情があり1件を不採択、2件を継続審査としました。

第1回臨時会

よしか生活応援プレミアム商品券事業 …2億4107万円

物価高騰の影響を受ける生活者を支援し、地域経済の活性化を図ります。

Q 町民全員に行き渡るのが。

A 3月12日現在、住民登録のある世帯主に家族分の引換券を送付する。

Q 購入して使う訳だが、町民への説明は。

A 制度の周知に努めたい。



※付帯決議（要旨）

- 1 実施に当たり、町民の意見を反映させ、十分に説明して理解を得ること。
- 2 進捗状況しんちょくを議会に報告のこと。

ここが知りたいギカイのイロイロ



付帯決議ふたいけつぎとは

予算や条例を可決する際に、「こう運用してほしい」と議会が行政に示す、要望や注文をまとめた決議です。法的に強制力はありませんが、議会で正式に可決された「意思表示」として、重く受け止められます。

第1回定例会

吉岡町職員定数の見直し案を可決しました

人口増加・業務量増加に対応するため、職員を増やします。

Q 正規職員と非常勤職員の割合は。

A 概算で正規職員が約55%、非常勤職員が約45%。

見直しされた職員の定数

	現行	改正後	増減
(1) 町長の事務部局の職員	115	127	12
(2) 水道事業の事務部局の職員	8	8	0
(3) 議会の事務部局の職員	3	3	0
(4) 選挙管理委員会の事務部局の職員	5	5	0
(5) 監査委員の事務部局の職員	2	2	0
(6) 教育委員会の事務部局の職員	20	22	2
(7) 農業委員会の事務部局の職員	4	4	0
合計	146	160	14

※ (4)、(7)は町長の事務部局の職員が兼ねる。

※ (5)は議会の事務部局の職員が兼ねる。

公共施設の整備のための基金を作る条例を可決しました

役場庁舎などの公共施設・公用施設の建て替えや改修に備え、基金を設置します。

Q 庁舎の建て替えには多くの費用が必要かと思うが。

A 将来的な投資で生み出されるものなどを積み立てていければと考えている。



令和8年度各会計予算案を可決しました

一般会計、特別会計、企業会計それぞれの予算案を可決しました。主な内容は8ページをご覧ください。

公園条例の一部を改正しました

「よしおか温泉公園」の休養施設や、公園内の動物に関して改めました。

Q 飼い主のいない動物についての禁止事項がわかりにくい。

A 県の条例にならったものだが、わかりやすく周知していく。



吉岡町水道事業給水条例の一部を改正しました

水道使用水量の計量を、「毎月」から「2カ月まとめて」と変更しました。

Q 経費はどれほど節約されるのか。

A 令和8年度予算ベースで、全体で約557万円の削減。



第1回臨時会 賛否一覽



第1回定例会 賛否一覽



人権擁護委員推薦の^{しもん}諮問に答申しました

人権擁護委員に増野明彦さん（北下）、栗田卓さん（漆原）を推薦する町長の諮問に、議会は全会一致で適任と認め答申しました。人権擁護委員は、人権相談や人権思想の啓発活動などを行い、任期は3年です。



ますの あきひこ
増野 明彦さん
(北下)



くりた たかし
栗田 卓さん
(漆原)

陳情を審査しました

令和8年3月2日に各委員会に付託された3件の陳情は、2件を継続審査、1件を不採択と決しました。

	件名・陳情要旨	委員会結果	本会議結課
陳情第1号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情 ・国民が知らずに違法な臓器移植に巻き込まれることを防ぐための、環境整備を求める意見書を国に提出すること。	総務産業 常任委員会 継続審査	継続審査
陳情第2号	mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止の意見提出を求める陳情 ・国会および関係行政庁に対し、「mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止を求める意見書」を提出すること。	文教厚生 常任委員会 不採択	不採択
陳情第3号	新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情 ・地方議員から政党機関紙購読などの圧力を受けた職員が確認された場合には、適切な対応を行うように求めること。	総務産業 常任委員会 継続審査	継続審査

思いを紡ぎ、未来へつなぐ 町長が施政方針演説をしました

施政方針とは、町長の町政運営に対する基本的な考え方や予算案および主要な施策について示したもので、一般会計や特別会計、企業会計の当初予算案の提案に先立ち、毎年行われています。



しばさき とくいちろう
町長 柴崎 徳一郎

1. 町政運営の方向性

- 原材料価格の高騰や物価上昇の変化を踏まえ、昨年度に引き続き経済状況を注視。
- 国や県との連携を一層強化し、地域経済の安定と成長を支える雇用施策を推進。
- 社会情勢の変化や新たな課題が生じた場合には柔軟に、迅速かつ的確に対応。
- 人口増加に伴い教育・福祉関連予算や、経常経費が増大。予算の柔軟性低下の現状を踏まえ、最低限必要な事業を確実に実施できる財源基盤の確保が重要。
- 財源確保には、以下のことが不可欠。
 - ・国や県の補助金と支援制度の最大活用。
 - ・PPP^{※1}やPFI^{※2}などの民間資金活用の検討。
 - ・基盤整備事業や企業立地促進による地域経済の安定化。
 - ・地域間連携を深めた連携型の財政運営の推進。

2. 令和8年度の方向性

第6次吉岡町総合計画を土台に、町の運営方針を再認識。そのうえで、町民の生活を最優先に将来に向けた必要な投資は積極的に進めていく。

果たすべき使命

「町民の生活を守り、町の発展を図ること」

※¹PPP (Public Private Partnership の略)
公共施設の建設や運営などを、行政だけで行うのではなく、民間企業と協力して進める方法です。民間の知識や工夫を取り入れることで、効率よく、より良いサービスの提供を目指します。

※²PFI (Private Finance Initiative の略)
PPPの一つで、民間企業が資金を用意し、施設の設計・建設から運営までをまとめて長期間行う方法です。長い期間任せることで、コストを抑え、効率的な運営につなげます。

吉岡町総合計画に掲げる6つの基本目標

- ①「すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実」
 - 誰もが安心して暮らせる基盤を整える。
- ②「学びのまち・吉岡」
 - 学校教育と生涯学習の一層の充実を図る。
 - ICT環境の有効活用や教員の研修。
 - 地域と連携した教育の推進を通じ、子どもから大人へと学びをつなぐ仕組みを強化。
- ③「次世代につなげる生活環境の充実」
 - 安全・快適な居住環境の確保。
 - 交通・防災基盤の強化。
- ④「地域産業の持続的発展支援」
 - 地場産業の振興、観光の促進、雇用の創出を図る。
 - 中小企業へのさまざまな支援。
 - 地域資源を活用した新たな事業創出。
- ⑤「緊急時対応への備えの充実」
 - 消防団の災害対応力強化。
 - 民間事業者との連携強化。
 - 住民への防災啓発促進と地域防災力強化。
- ⑥「将来を見据えた行財政運営の推進」
 - 財政健全性を保ち、長期視点で投資判断。
 - 透明性の高い説明責任の実現。
 - 持続可能な財政運営を確立。

以上の方針により、令和8年度を「思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり」を一層具体化する年とし、「もっと住み続けたいくなるまちづくり」を実現していく。

町長施政方針に質問しました

町長施政方針演説の内容に対して、1人30分の持ち時間で質問を行うことができます。今回は、3人の議員が質問に立ちました。



人口増加をどう町の力に

こばやし しずや
小林 静弥 議員



- Q** 人口増加をどのようにして町の地域力や持続可能性の向上につなげていくのか。
- A** 人口増に伴う教育・福祉関連予算増による予算の柔軟性低下の事実は真摯に受け止め、町の魅力を高め、定住人口を増やす取り組み、また、子育て支援策を充実させ、年少人口比率を維持する取り組みなどを行っていきたい。
- Q** 雇用政策で、若い世代や子育て世代が安定し

て働き続けられる環境をどう整えていくか。

- A** 地域で働く選択肢を広げるため、産業団地の整備を進め、保育受け入れ体制の充実など、子育てと仕事の両立支援を一体的に推進していく。
- Q** HiBALIプラン5.0の成果は。
- A** 県内外から注目される、子ども主体の授業実践が行われている。
- Q** 若い世代、新しく住まれた人に対し、防災意識をどのように高めていくのか。
- A** 誰もが気軽に楽しく参加できる「吉岡防災デイズ」などの防災イベントを通じて、防災意識の啓発、向上を図っていききたい。



中学校までの給食費無償化は

こいけ はるお
小池 春雄 議員



- Q** 小学校までの学校給食費の無償化が国の方針で実施される事が決まった。踏み切れずにいた吉岡町でも実施が決まり、保護者は喜んでいる。中学校まで無償化をすることが県内で進んでいるようだが、子育て支援を掲げている吉岡町こそ、実施すべきではないのか。独自策の取り組みの抱負は。
- A** 現在の町の状況を見据えてしっかりと判断

していききたい。

- Q** 限られた財源の中で時代に即した施策を進めていくには慎重な議論が必要と考えるが、数年で廃止したもの、見直しをしたもの、以後の取り組みで検討・廃止対象として考えているものは何か。
- A** 議会議事録の外部委託、放課後児童見守りパトロール、よしおか健康 No.1 プロジェクト、芸術鑑賞補助金、1人暮らし高齢者保養事業、母子父子家庭祝い金、道の駅事業（桜並木里親の会）、幼児用補助用具購入補助など縮小している。



公共交通の課題と対応は

やまざき もりひと
山崎 守人 議員



- Q** 公共交通の課題と対応は。
- A** 町民アンケートを踏まえ、自動車以外の移動手段の確保として、デマンドバスやタクシー券補助の検討を進める。
- Q** 町長施政方針における住環境整備の具体策は何か。
- A** 無秩序な宅地開発を抑制し、用途混在を防ぐため、都市計画マスタープランの改定を

進め、計画的なまちづくりを図る。

- Q** 防災基盤の現状認識は。
- A** 地震対応不可の指定避難所については、民間施設活用や災害協定締結により代替策を講じる。
- Q** 行財政運営と財源確保策は。
- A** 町税収納率向上、遊休資産活用、ふるさと納税拡充など多角的手法で持続可能な財政運営を目指す。

予算決算常任委員会

町の予算を審査しました

議長を除く全議員が所属する予算決算常任委員会が開会され、議長から付託された令和8年度予算を審査し、それぞれ賛成多数で可決しました。主な質疑・答弁・討論を掲載します。

自治会活動支援事業等

…3792万円

よりよい地域づくりを目指すことを目的とし、自治会活動全般に助成します。

毎戸配布ポスティング委託料

…450万円

自治会負担軽減を図り、「議会だより」「広報よしおか」などを事業者ポスティングにします。

Q自治会の事務委託料が減った金額と、ポスティングの金額に差があるのは。

A事務委託料分の仕事量が、全体でおよそ半減するという想定での減額。



きょうりょう 橋梁点検業務委託料

…1456万円

橋梁の安全性や長寿命化を図るため、町内橋梁の点検を行います。

Q今までどのくらい点検したか。

A5年に1度の法制点検になってからは、今回で3巡目。2巡目が令和5年度まで。町内131橋中、令和8年度は48橋を行う予定。



消防車購入

…3309万円

第5分団消防車を更新します。

Q運転できる分団員は何人いるか把握は。

A中型免許が必要。現在、第5分団員19人中、運転可能は14人。



学童保育事業費等

…7287万円

民間学童クラブに対して運営費の補助を行い、児童福祉の向上を図ります。

Q通っている人数が増えているための増額か。

A児童数の増加と、職員の人件費増のため。



給食センター整備事業

…2600万円

PFI手法による基本計画に基づき業務を進めます。

Q新年度より給食費小学校無償化ということだが、何か情報は入っているか。

A速やかに対応できるよう、準備は進めている。



反対討論しました

議案第24号令和8年度吉岡町一般会計予算に対し、限られた予算ではありますが、削減と新規事業の優先順位に対し問題有りと考え、反対します。

こいけ はるお
小池 春雄 議員



議員の知見と活動の集約

一般質問で町政を問いました

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。



◀本会議の様子を生中継・録画でも配信



カーブミラーの清掃は



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員

A 新カーブミラーは曇り防止加工に



Qカーブミラーの清掃は。

A最近のカーブミラーは特別な加工であり、雨水で汚れが落ちる。汚れがひどい物は順次交換。

Q一時的避難所（災害時協定）の案内板設置は。

A災害対策基本法に基づく指定緊急避難場所ではないので、案内板やハザードマップへの掲載は行っていない。

Q午王頭川側道の今後は。

A渋川土木事務所と協議。損傷が大きな箇所、樹木の根で隆起した部分は補修工事を検討。フェンスは安全性が保てない場合は修繕検討。

Q防災意識向上の取り組みは。

A各種イベントの場を活用、意識向上を図る住民参加型・体験型の訓練を行う。

Q町内小・中学校での暴力行為は。

A小学校で増えている傾向。教育委員会では、学校の対応・指導の状況を把握。そして当事者・保護者が事実関係に納得し和解後も経過観察。

Q不登校の対策は。

A最も大切なのは未然防止。学校の教育活動の充実、多様な活躍の場の創造に努める。



新しいミラーで安全確保

資源ごみのさらなる 分別回収推進を



ふじた
藤多 ゆかり 議員



A 学校にストックハウス設置を検討

Q 分別ごみの細分化とストックハウスの進化や拡充など、今後の予定は。

A 町のストックハウスは令和7年度、衣類の回収を追加し、回収量は順調に増加。今は、分別の細分化よりも、基本的な分別の徹底を推進していきたい。また、教科書やプリント類が相当な量であることから、町内の各学校にストックハウス設置を検討中。

Q 分別による燃えるごみの減少に伴い、ゴミ袋小サイズの追加の考えは。

A 町としては、小サイズのゴミ袋の追加予定はないが、渋川広域組合で統一化に向けた協議を進めている。渋川市には小サイズがあり、統一後は追加される予定となっている。

Q 生ごみ処理機購入補助金利用の実績は。

A 非常に好評であり、約半年で終了しコンポスター5件、電動式11件となった。生ごみ減量に向けて周知啓発活動を図っていく。

図書館にWi-Fiを

多方面について調査中

Q 12月議会で町在住の高校生より陳情された、図書館での無料Wi-Fi整備の検討は。

A 高校生が町を変えたいという思いを表現してくれたことは大変うれしく思っている。現在、費用面・セキュリティー面・懸念される事項など多方面について調査している。費用面では初期費用が約170万円、ランニングコストが年間12万円程度など。また、近隣の自治体の状況なども調査研究している。

Q 国際女性デーに向けた啓発活動の取り組みは。

A 3月8日の国際女性デーの周知と、「女性の権利や平等について考える日、行動を始める日」というメッセージを込めて、役場庁舎をイエローにライトアップする。また、人権擁護委

員による人権教室でジェンダー平等や、多様な生き方について講話を行っている。



国際女性デーはミモザを贈る日 花言葉「感謝・思いやり」

団体補助金削減の説明を

再構築のための苦渋の決断

Q スポーツ協会などの団体補助金削減予定の理由の説明を。

A 町の限られた財政状況の中で、従来通りの一律継続の補助金を見直す時期に来ており、持続可能な仕組みの再構築であると考えている。次世代に負担を先送りせず、より効果的・重点的な支援体制を構築するための苦渋の決断であった。



団体補助金見直しにより運営が懸念される地域交流の場

地域クラブへ移行 経緯と実績は



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



A スポ少内に中学部門を設けた

Q 令和5年度から令和7年度までが改革推進期間として、休日部活動を地域クラブへ段階的に移行、3年間の経緯と実績は。

A 令和5年度は、段階的な地域移行推進計画を策定、指導者のコーチング研修会を実施。令和6年度は、生徒や保護者、代表者へ地域移行の説明を実施、兼職兼業を許可する必要な事項を定めた。令和7年度は、指導者協議会を定期的実施、スポーツ少年団内に中学部門を設け、指導者の確保を図った。

Q 地域移行を完了している部活動の数と移行先は。

A 土日に活動のある運動部15部、文化部2部の全てが完了で、スポーツ少年団、スポーツ協会の専門部、ヤマダホールディングス、地域指導者へ移行。

Q スポーツ団体などに、町としての支援体制は。

A 持続可能な運営を行えるよう、財政支援として必要な交付金、生徒と指導者の保険料およびスポーツ少年団登録料を交付している。

Q 令和6年度の地域クラブの収入では、県・国委託金が76%、町の補助金が24%となっている。今後も支援は続くのか。

A 令和7年度までは、県・国委託金75%、町の補助金25%、令和8年度は新しい枠組みで、国と県と町が各1/3の補助方式となる。



失敗を恐れずいろいろなことに挑戦（駅伝県大会）

地域移行を地域展開とした理由は

地域に移すとの誤解を払拭

Q 令和7年5月スポーツ庁と文科省は、地域クラブ活動の在り方について最終報告書を取りまとめた。地域移行という名称を地域展開に変更し、令和8年度から6年間を改革実行期間とした。名称変更で何が変わるのか。

A 国が変更した趣旨は、部活動を単に学校から切り離し、地域に移すとの誤解を払拭するため、学校と地域が相互に連携し、地域全体で活動環境を構築するもの。町では、令和4年度当初から地域展開の趣旨で進めており、用語変更による影響はない。

Q 平日の地域展開への取り組みは。

A 現時点で平日の地域展開を進める考えはない。休日の地域展開を、安定的持続的に定着させることが最優先と考える。平日まで広げると、指導者の確保ができず、受け皿もない。平日は、学校における自主的な活動である部活としての意義を大切にしたいと考える。

Q 町所有車の使用と、町外クラブに所属の生徒が県大会・全国大会に参加した場合の費用は。

A 車は一定の条件があるが引き続き認める。町外所属の生徒は、制度がないので調査する。



平日は教育環境の中で自主的な部活動を（全国大会）

個別連携協定締結 今後の展開は



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員

A 具体的な連携の可能性を探りたい



Q 令和7年9月26日に、町と大学発ベンチャー企業との個別連携協定締結式が行われた。次のステップに進めるにあたり、町としてどのような展開を考えているか。

A 町としても、産学官連携が一つの形としてスタートしたものと受け止めている。大学発ベンチャー企業が取り組む、環境・健康・地域産業に関する技術は、町の将来像や第6次総合計画の方向性とも親和性が高いと考えている。無理のない範囲から、具体的な連携の可能性を探っていききたい。



連携協定の肝になる「土壌改良材」

Q 令和7年9月の一般質問の中で「町に關係する施設で、今後も使用する予定のない場所があれば、お貸しいただけませんか」という内容を伝えたが、進展や可能性はあったか。

A 公平性や公的資産の適正利用の観点から、現時点では慎重な判断が必要と考えている。引き続き検討を続けながら、関係機関との調整や情報提供などの面で支援していききたい。

競わない部があっても良いのでは

素晴らしい居場所になりうる可能性

Q 現在の吉岡中の部活動（運動部15・文化部4・

季節部6）は、結果的に勝敗にこだわってしまうものや、順位・賞を求めてしまうもので構成されているが、多様性容認に趣を置いて考えた時、前提として勝敗や順位などを競わせず、自らの健康と健康体を維持する目的の部があっても良いのではないか。

A 勝敗や順位というプレッシャーから離れ、自分のペースで参加できる「競わない部活動」が存在することは、部活動への参加をためらっていた生徒たちにとって、自己肯定感を高め、豊かな人間関係を築くための素晴らしい居場所になりうると思う。競技力向上を目指す場と、勝敗を問わず純粋に楽しむ、この両輪が地域社会の中で適切に用意され、子どもたちが自らの意思で選択できる環境を整えていくことは、私たちが目指す理想的な姿であると考えている。



開校から58年目になる吉岡中学校

Q 小学生とラジオ体操の話をした際、現在小学校ではほとんど実施していないという回答だった。小・中学校での実態は。

A 小学校2校では、必ず実施しているわけではないというレベル。中学校では、体育授業で割と頻繁に行われている。ただし、ラジオ体操第2を行う機会はなく、ここ20年以上小・中学校では行われていない。

都市計画で目指す 20年後の町づくりは



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員

A 自然・農地・地域開発が調和した町



Q 今後10年間の行動計画を決定する都市計画マスタープラン（基本計画）だが、20年先の町の姿をどのように設計し、実現のため10年間に何を実施していく計画か。

A 人口減少の時代における持続可能な町づくりのため、自然・農地・地域開発などが調和した土地利用計画を策定。自動車以外の移動手段を選択できる地域の構築、出掛けやすく楽しめる場所づくり、産業拠点の創出などを目指している。

Q 吉岡バイパス中島交差点から仮称杉下交差点を経て西へ、高崎渋川線バイパスとの交差点まで、道路両側の一定幅を商工業開発可能区域に指定すべきと考えるがどうか。

A 工業の集積地は3カ所、インターチェンジ 駒寄スマートIC西地区・仮称杉下交差点周辺・小倉工業団地とする予定。提案の沿線を商工業の開発可能地域とはしない方針。



将来有用な土地となるバイパス建設予定地遠景
(高速道カルバートから西の方面)

Q 県道前橋伊香保線の建設には、残る部分これを推進していくために、プロジェクトチームを編成すべきでは。

A 県道1.3kmの建設は、県・渋川市・本町の3者で協議中であり、早期の事業着手を強く要望している。プロジェクトチームづくりにはさまざまなご意見・情勢を見極め対応する。

自治会事務委託契約の変更理由は

自治会要望・経費節減など

Q 令和8年度から、自治会事務委託契約を変更する経緯と内容は何か。

A 自治会の負担軽減の求め、町広報誌などが町民全戸に配布できていない実態の改善、町予算の大幅な削減計画、以上の3つの理由による。広報などの毎戸配布は事業者に委託することとし、自治会連合会にて事務委託内容・委託料金の低減など変更点を提示した。委託料変更は3年で段階的に行うこととして理解が得られた。

Q 自治会は町の執行業務の一部を支える重要な組織。今後、町は自治会とどのように連携し、何を期待していくのか。

A 引き続き行政連絡文書の回覧業務・環境美化・道路愛護・各種委員・役員の推薦など、今まで通り協力をいただく重要なパートナーと考えている。また、災害時には隣近所の助け合いが必要。日頃から地域のつながりを大切にしたい防災面での役割を期待する。



盆踊りの輪・地域で作る近隣住民のつながる和

小学校の給食費の無償化は



いいじま まもる
飯島 衛 議員

A 予算が可決されれば対応したい



Q 小学校の給食費の無償化は4月から実施できるのか。

A 従来どおりの予算を計上しているが、国で給食費無償化を可決したら速やかに対応したい。

Q 国から1人月額5200円の支援があるということだが、保護者の負担はどうか。

A 保護者の負担はゼロと想定される。

Q 中学校の給食費無償化の実施は。

A 現状ではまだ予定していない。

Q 小・中学校の修学旅行の費用が上昇しているとのこと。補助金を出している自治体もあるようだが、吉岡町でも考えてはどうか。

A 生活保護家庭や就学援助家庭は、補助をしているが、現時点では全員補助は考えていない。

大変便利なシステムであり、ぜひ導入してほしいと思う。また、外にテラスなど設置するのも良いと思うが。

A 「おうち図書館」の取り組みは移動が困難な高齢者や子育て世代にとって、大変有効だと考えられる。導入コストや利用人数などを精査し今後の研究課題としたい。また、テラスの利用は一つのアイデアだと思う。

Q 新型コロナウイルスの感染者は2023年5月に5類にしてから減少傾向にあるが、感染して亡くなる人の数は高止まりしている。また、2024年にはコロナで亡くなった人はインフルエンザの約13倍にもなったとのこと。吉岡町として予防接種の継続と助成についてどう取り組むのか。

A 今後も引き続き実施する予定である。助成については、渋川地区医師会および渋川市、榛東村と協議し、接種実施前までに決定する予定となっている。

Q 日本のスケートボードが世界で注目されているが、スケートボードを行う場所が少ないようである。天神東公園にパークを設置できないか。

A 第2期工事において、スケートボードパークを検討対象に含めるか研究したい。

「おうち図書館」の導入を

とても便利で研究課題としたい

Q 「おうち図書館」という、本の貸し出しから返却まで誰でも無料で利用できる宅配サービスを行っている自治体がある。共働きで忙しい人、図書館に行くのが大変な人たちにとって



さらに魅力ある図書館へ



スポーツの多様化が進んでいる

再生可能な行政運営を



こいけ はるお
小池 春雄 議員



A 職員一丸となって取り組んでいく

Q COP21^{※1}あるいは再生可能（持続可能）な社会の実現、SDGs（再生可能なエネルギー）など、さまざまな形で教育現場や地域社会において関心を集め、取り組みが進められている。これまでも検証してきたが、吉岡町のごみのリサイクル率は県内でも下位に位置している。行政が音頭を取ることで前進できる取り組みは数多くあり、これは広域組合への負担金の大幅な削減につながり、自主財源の増加にも寄与するものである。取り組みの方法は多様に考えられるが、不要となった不用品を自由に利用できる、いわゆるリユース^{※2}の場の確保も必要ではないか。

A 生ごみの堆肥化や燃料化などによる資源化は、廃棄物の減量化に対して最も有効な手段であると認識している。しかし、町単独での施設整備・運営は困難であり、広域連携や民間事業者との連携など、さまざまな方法を総合的に検討していく。リユースについては、現在、社会福祉協議会や児童館などで実施されているが、今後はさらに拡大を図り、ごみの減量化に向けて職員一丸となって取り組んでいく。

Q ふるさと納税の確保においては、茨城県境町の取り組みが有名であり、年間で百億円近い寄附を集めている。同町にはふるさと納税室が設置され、専従体制で対応していると聞いている。こうした事例に倣い、本町においても一考すべきではないか。

A 魅力ある返礼品の発掘などを目的に、庁内職員で構成するグループを立ち上げ、増収に向けた全庁的な対応を検討中。

広域組合に職員派遣を

重要と認識、調整を進める

Q 広域組合に、今後数百億円規模の予算が投じられる予定である。常に広域組合の実情を把握できる体制を整え、その方針を正しく認識しておくためには、吉岡町職員の派遣が必要であると考えているが。

A 渋川地区広域市町村圏振興整備組合は、消防・ごみ処理・し尿処理・火葬場および斎場・夜間急患診療所・職業訓練センターなどの管理運営を担っている。当組合を構成する市町村の役割としても、本町職員が組合の事務に関わることは重要であると認識している。現在、具体的な職員派遣に向けた調整を進めているところである。



※1 COP21 (コップ 21)

COP21とは、2015年にパリで開かれ、温暖化対策の国際ルール「パリ協定」を採択した会議のことです。COPは「Conference of the Parties」の略で、日本語では「締約国会議」と呼ばれます。21は第21回目の会議の意味です。

※2 リユース

リユースは、身近なところで実践しやすい3Rの1つです。リユースとは、一度使った物を捨てずに、そのままの形で繰り返し使うことです。例としては、詰め替えて使うビンや容器、おさがりの服、中古品の利用などがあります。3Rの中で、リユース以外にも大事なものが2つあります。リデュース(ごみを出さない)…買う量や包装を減らす。リサイクル(資源として再利用)…分別して新しい製品にする。3Rは、リデュース・リユース・リサイクルの3つをまとめた言い方になります。

群馬県町村議会議長会表彰

令和8年2月に開催された全国町村議会議長定期総会、群馬県町村議会議長定例会総会において表彰された議員は次のとおりです。

議会議員在職10年以上一般表彰 とみおか たいし 富岡 大志 議員



広報視察研修で学びました

1月21日・22日に、先進的な取り組みを行っている自治体の事例を調査・研究するため、長野県原村および静岡県長泉町を訪問し、議会広報の在り方や住民との関わり方について視察研修を行いました。

原村議会では、議会広報と合わせて住民の声を聴く公聴活動が活発に行われています。住民にとって議会が身近な存在となるよう、「伝える広報」と「聴く広聴」を両輪として捉えている点が特に参考となる取り組みでした。

長泉町議会では、洗練された誌面デザインと分かりやすい構成で、読み手を意識した工夫が随所に見られ、議会広報を「読ませる」「伝わる」形で発信

されています。また、SNSの活用や参加型の企画など、議会広報を単なる報告にとどめず、コミュニケーションの手段として位置づけている点は、非常に先進的と感じました。

原村の公聴を重視した姿勢と、長泉町の視覚的に引き付ける広報手法は、それぞれ異なる特徴を持ちながらも、住民に開かれた議会を目指すという点で共通していました。これからの吉岡町議会広報活動の向上につなげます。



ギカイだよりクイズ NO.151

- 問1 令和8年第1回定例会の会期は何日でしょう。
A. 18日間 B. 19日間 C. 20日間
- 問2 町長施政方針に対する質問は何人が行ったでしょう。
A. 1人 B. 2人 C. 3人
- 問3 人権擁護委員候補者の推薦人数は何人でしょうか。
A. 2人 B. 3人 C. 4人
- 問4 (任意) 皆さんの声を聴かせてください。ご意見やご要望などをお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

応募方法

はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業の記入または二次元コードから応募してください。
※個人情報は商品の発送のみに使用します。

応募先

〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限

6月1日消印有効
賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



▲応募はこちら

前回の正解は1-B、2-A、3-Cでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

6月定例会 9時30分から

1日(月) 開会日
3日(水)・4日(木) 一般質問
11日(木) 閉会日

※日程は、変更になる場合があります。
※町議会ホームページで生中継および録画配信も行っています。

編集後記

新緑が心地よい季節になりました。日頃から町政に温かい関心を寄せてくださる皆さまに感謝申し上げます。新年度の取り組みも始まり、議会だよりが町の様子を身近に感じ、参画の一助となれば幸いです。(藤多 ゆかり)

議会広報常任委員会

委員長 小林 静弥
副委員長 山崎 守人
委員 宮内 正晴 秋山 光浩
大井 俊一 藤多 ゆかり
春山 和久

発行 吉岡町議会
責任者 議長 富岡 大志
住所 群馬県北群馬郡吉岡町大字
下野田560
TEL 0279-54-3111